

地域住宅生産者グループ
地球と家族を考える会

地域型復興住宅の名称	対象となる地域
ふくしまの家KUMIKO	県北・県中・県南・会津・いわき

グループの特徴とメッセージ

地球と家族を考える会は、家族、地域、地球環境全てに良い住まいを提供したいとの想いで住まい造りに関わる職人たちが集まって作りました。地域材を主材とした自然素材と自然エネルギーにこだわったふくしまの家KUMIKOは、シックハウスの原因となる新材を極力使わない、アトピーの家族にも安心な住まいです。キッチンを中心とした空間スタイルは家族間のコミュニケーションを円滑にします。無垢材を組み合わせる伝統構法+板倉構法はこの度の地震にも問題なく、耐震性に富んでいることが実証されました。余震の続く福島においては地震に対する安心感は何物にも勝ります。

グループの基本情報

グループ名称	地球と家族を考える会
所在地	福島県郡山市開成4-28-17
結成年月	2008年9月
グループ形態	任意団体
主たる業態	設計
グループ構成 ※各事業者名は別紙	合計40社 原木供給 : 2社 製材 : 4社 建材流通 : 4社 プレカット : 1社 設計 : 9社 施工 : 18社 その他 : 2社
代表者名	嶋影健一(合同会社地球と家族を考える会代表社員)
主な受賞歴・活動内容等	<ul style="list-style-type: none"> 平成21年長期優良住宅先導事業採択(実績1棟) 応急仮設住宅 木の家勉強会開催(年3回)

地域型復興住宅の主な工法・価格帯

主な構造・工法	伝統構法+板倉工法
価格帯	1,400~2,000万円
価格の基準面積	90~110㎡
価格に含まない項目	屋外工事費、外構工事費、設計料、諸手続費

*価格は、地域・プラン、仕様によって異なります。詳しくはお問い合わせください。

グループ全体の施工実績(年間)

建設戸数*(木造戸建)	20戸
うち地域材活用の住宅	20戸
うち長期優良住宅	4戸
グループとしての施工実績	なし
グループとしての地域型住宅の受注可能戸数	36戸
自由記入欄(上記以外の実績等)	仮設住宅 86戸

※参画する施工業者の建設戸数の合計

連絡窓口

担当者名	羽生拓希	メール	earth-family@k2.dion.ne.jp
電話番号	024-923-5400	FAX	024-923-4829
ホームページ	http://www.earth-family.co.jp		
自由記入欄			

地域型復興住宅 ふくしまの家KUMIKO

地域型復興住宅のイメージと特徴

■ 土に還る自然素材にこだわった環境 負荷の少ない家

- ・ 生きた人間が住む家は生きた材料で造るべきです。主材となる柱梁に杉の無垢材を使うことはもちろんのこと、身体に直接触れる床壁天井も杉の無垢板を使い、柔らかく温かな居住空間を作ります。
- ・ 断熱材も木から生まれるセルローズファイバーを使い、人体にも地球環境にも負荷をかけない住まいです

■ 低炭素社会をつくるサスティナブルな住まい

- ・ 木材は太陽エネルギーの申し子であり、唯一の枯渇しない資源です。木材を主材料にした住まいは、CO²を構造体内に固着し、低炭素社会の実現に貢献します。
- ・ 地域材を使う地産地消の住まいは建材の運搬によるCO²の拡散を抑制します。
- ・ 庭で家庭菜園ができるプランです。



代表的事例の概要

構造	伝統構法+木造軸組工法	床面積	1階：65㎡ 2階：28㎡
設計	(有)建築工房	施工	ぼんだい東洋建設(株)
施工費	1,680万円(設計費用は除く)	備考	—

設計方法や地域材活用に関する特徴

■耐震性に優れた板倉構法の住まい

- ・1m間隔にある柱と柱の間に杉板が落とし込まれた真壁構造体は、それ自体が耐力壁であると共に仕上げ材になり、耐震性に優れた、身体にも目にも優しい杉の内装材となります。
- ・真壁構造体は土台と柱、柱と梁桁は込栓で結ばれた柔構造です。さらに伝統構法の特徴である貫を活用することで耐震性にもリユース性にも優れていることが今回の地震で立証されました。

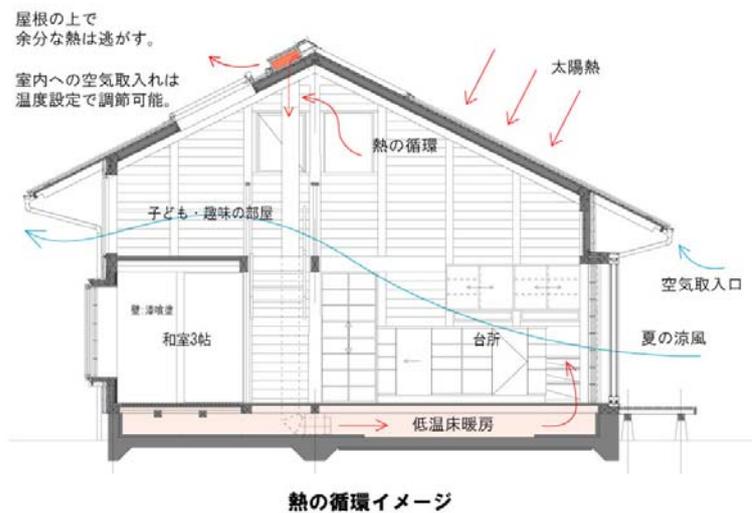
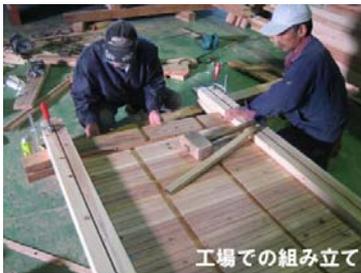
主に活用している地域材について

地域材の名称	福島県産ブランド材 とってお木
樹種	杉、檜
産地	福島県棚倉地域
認証制度等	—
主に取扱う材種	無垢材、無垢間伐材
主に取扱う部材	柱材、梁材、羽柄材、内装材
自由記入欄	地域型復興住宅では福島県産材を100%活用した住宅を供給します。

性能・仕様および施工方法等に関する特徴

■バリアフリー&シックハウス対策とサステイナブル施工

- ・メーターモジュールのため空間にゆとりがあり、床の段差を作らないので、車いすでの生活にも不自由しない住まいです。
- ・大きな吹き抜けの空間でも、床下に暖気を送られるので床～天井の温度差が少なくヒートショックのない住まいです。
- ・杉の無垢材が中心素材であり、シックハウスの原因となる新建材の使用を極力抑えるため、アトピーの家族にも安心な住まいです。
- ・真壁構造体を工場で柱毎にパネル化し、現場に搬入します。棟上げはパネルを1～2日で組み上げるため、現場施工の工期は約3～4ヵ月です。
- ・木と木を組み合わせることの意味を持つ組子がKUMIKOの由来どおり、金物を使わない構造はリユースが可能なサステイナブル住宅です。

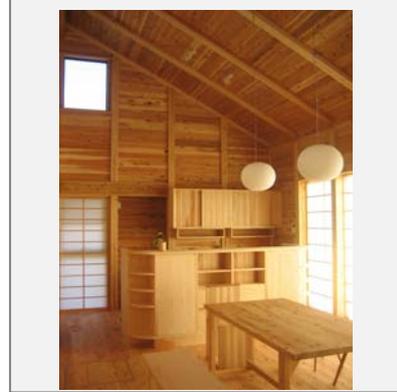
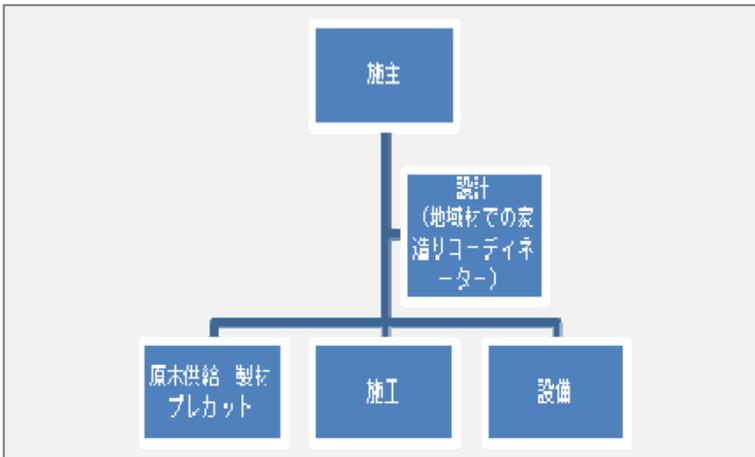


地域住宅生産者グループ 地球と家族を考える会

地域型復興住宅の生産供給や流通資材の調達に関する体制

■社内での資材供給体制によるスムーズな調達

- ・当会は林業から設計、施工、造園まで家造りに関わる職人がグループ内で全て揃っているため、木材から設備まで資材調達の連携プレーがスムーズです。



施主からの相談体制および維持管理（アフターサービス）の体制・取組み

■夢を叶える家造り & 万全なアフター体制

- ・施主の家造りへの要望は全て設計事務所の建築士が承り、施工職人への窓口となるので安心です。
- ・完成引き渡し後は担当の設計事務所の建築士が相談窓口となるため、管理、修繕の手配が確実に簡潔に行われます。

